

路面電車の復興に向けて

路面電車は、可動車両 36 両のうち 16 両が焼失、5 両が大破し、従業員は判明しただけでも死者 108 人を数えるなど、大変な被害を受けましたが、「長崎の復興は電車から」を合言葉に復旧に奮闘しました。

1945（昭和 20）年 11 月に長崎駅前～西浜町～蛍茶屋の運行を再開した後、他の区間の開通も進み、最後まで残された西浜町～思案橋が運行を開始したのは 1953（昭和 28）年 7 月でした。



長崎電気軌道大橋営業所

撮影時期 1945(昭和20)年 9 月

撮影 米軍

所蔵 長崎原爆資料館



長崎駅前の電車停留所風景

撮影時期 1945(昭和20)年

撮影 米軍

所蔵 (公財)長崎平和推進協会写真資料調査部会



大橋鉄橋付近

撮影時期 1952(昭和27)年

撮影 不詳

所蔵 長崎市



出島電停

撮影時期 1955(昭和30)年

撮影 不詳

所蔵 長崎市